

第 12 回遠州広域行政推進会議 議事要旨

1. 日 時 平成 28 年 12 月 20 日（火）15:00～16:30
2. 場 所 袋井市総合センター4 階大会議室
3. 出席者 浜松市長（座長）、磐田市長、掛川市長、袋井市長、湖西市長、御前崎市長、菊川市長、牧之原市長、森町長
4. 概 要 以下のとおり。

地域資源を活かした広域観光の推進について（1）講演及び意見交換

「遠州地域の歴史遺産と観光への活用」をテーマとし、小和田哲男静岡大学名誉教授による講演が行われた（資料 2）。その後、各首長と講師による意見交換が行われた。

【講演概要（ポイント）】

- ・先日、「直虎は男性だった」とする新説の報道があった。ドラマ放映前でもあり、非常に反響が大きいですが、根拠となる資料が聞き書きによる二次史料である以上、慎重に捉えるべきである。
- ・仮にこの説を容れたとしても、次郎法師がいて、なお関口氏の出自の者が同時期に「次郎」を名乗れるとは考えにくいこと、聞き書きが行われた江戸期の感覚では女性が家督を継ぐことはあり得ない中で本当に正しく伝えられたのかということ、直政を家康に引き合わせるまでの話と上手くつながらないことなど、数多くの疑問が残る。総合すれば、直虎はやはり女性であると考えている。
- ・大河ドラマの舞台となる遠州地域には、伊平の鍛冶、川名のひよんどり、龍潭寺など、非常に特徴的な要素が多い。旧浜岡町の新野左馬助や掛川など、ゆかりの地も多い。
- ・この地は、勝間田、横地など同族でのひろがりも多いため、広域観光の鍵となる。毎回の大河ドラマ放映後の 1 分間のゆかりの地紹介コーナーで取り上げられるよう地元で頑張ってはどうか。
- ・昨今の城ブームでは、天守など城郭がなくても、堀や石垣等が残っていれば人気となることも多い。浜松城だけでなく、掛川古城、頭陀寺城、高天神城など、今川、武田と徳川の攻防に絡めて、連携して上手く PR すればよいのではないか。
- ・家康が遠江侵攻後、見付に一旦本拠を置いたが、武田の侵攻に対応するため、天竜川を越えて浜松に移した。こうした話も上手く使えないか。
- ・遠州地域の神社仏閣も、延喜式内社など、古来より由緒あるものが多い。遠州三山や湖北五山のように、上手にまとめてネーミングすることで、PR していけばよい。
- ・民俗芸能についても、三遠南信地域は、鎌倉時代から続くものもあつたりと民俗学の宝庫と呼ばれ、潜在力がある。
- ・歴史遺産は、ただ保存するだけでは駄目。文化財とし陽の目を見せ、観光資源に積極的に活かす発想が求められている。各市町の教育委員会がしっかりリストアップ

し、観光部門がどんどん活かしていく時代である。

【意見交換】

(掛川市長) 旧掛川市史で将門の首塚とされた場所が、最近では直親が討たれた場所と言われるようになってきている。どちらが本当の話か、ご教示いただきたい。

(講師) 永禄5年に直親は今川氏真に呼び出されて討たれたが、従者を含めて19人であった。首塚も19あるので、おそらく将門でなく直親でないかと考える。

(袋井市長) NHK大河ドラマの最後に放映される1分間のコーナーを狙ってはどうかとのことだったが、具体的には、NHKに働きかければよいのか。

(講師) NHK側の話から、1分間のコーナーは、そこまで厳密に決めている訳でないようである。ドラマのストーリーに何らかに関連ある内容であればチャンスがあるということであり、地元でこれを探す努力がまず大切ということである。

(菊川市長) 本市では、直虎ゆかりのものを見つけるのが困難だが、何かあればご示唆いただきたい。

(講師) 系図がカギとなるのでないか。井伊氏は藤原北家の流れをくむが、井伊と同属の横地氏は藤原南家の流れである。室町時代は斯波氏が遠江を領有していたが、実際の統治は勝間田氏や横地氏、原氏や天野氏が行っていた。こうした背景を踏まえつつ、横地氏を手掛かりに井伊氏と菊川市のつながりを探ってはどうか。

また、全く別の発想だが、2006年当時、掛川市長がNHKに対し、ドラマの中で家康が小田原征伐に向かう際のセリフ「茶が美味しい」を「掛川茶は美味しい」に変更するよう陳情した事例も参考になる。

(御前崎市長) 本市も直虎ゆかりの地としてPRを進めているが、直虎目当ての観光客を浜松等と回遊させるシステムを作りたい。

(講師) 御前崎市ゆかりの新野氏は、ドラマ上も重要な役割を担うと聞いている。左馬助はもとより、裕椿尼も、長い時期ドラマで様々な役割を果たす。

(御前崎市長) 池宮神社も、市文化財の徳川慶喜の扁額が名高い。

(講師) 先日、新城市との観光交流を進める旨の報道を拝見したが、直政の時代まで遡った上で連携してはどうか。新城には長篠古戦場などがある。併せて、高森町との交流も考えるとよい。

(森町長) 森町には、直虎ゆかりのものがないが、例えば井伊氏や新野左馬助の往来ルートとして森町を通過した等の史実はないか。

(講師) 残念ながら分からない。

(浜松市長) 戦国末期の城には名城が多いが、本地域にはなかなか城として残っているものが少ない。どのようにPRしていくべきか。

(講師) これまでの愛好家は、主に天守閣等を目当てに来ていたが、ここ10年は、石垣が残っていれば御の字と、徐々に趣向が変わってきている。ほとんど何も残っていないことも、やり様によってアピールにつながる。高天神城など掛川の3城は、これに該当するのでないか。

(湖西市長) 直接の直虎関連はないが、天竜浜名湖線により井伊氏につながることで、PRにつなげていきたい。また、市内の本興寺を活用したいが、ご示唆をいただきたい。

(講師) 本興寺は、鵜殿氏に関係が深く、由緒ある寺である。滋賀県で、住職のいない寺が所蔵する重要文化財の仏像を住民が協力することで開帳し、観光資源として活用した事例があり、参考となるのでないか。

(牧之原市長) 本市は田沼意次が一時治めた地である。意次生誕 300 年を目前に控え、PRにつなげたいと考えるが、当時の相良城は既に破壊され、良いものがない。何かヒントをいただけないか。

(講師) 近年、田沼意次は、単なる賄賂政治家でなく、経済政策などを中心に再評価されている。相良城も石垣など残存のものがあり、これに平田寺などを組み合わせ、上手に掘り起こしてはどうか。

地域資源を活かした広域観光の推進について (2) 中間報告及び意見交換

資料 3 により、事務局（浜松市観光シティプロモーション課長）より説明。その後質疑応答。

【質疑応答】

(磐田市長) 駅前に新しく作られる「浜松出世の館」はどのくらいの規模か。

(事務局) 約 550 m²の大きさである。

(浜松市長) 場所は、べんがら横丁跡地を予定している。高架の耐震化のため、丁度一年程利用予定が空いており、活用を決めた。大河ドラマ館の規模はどのくらいか。

(事務局) 広さは約 500 m²、場所は北区のみをつくし文化センターを活用する。

(袋井市長) 大河ドラマを契機に、地域の歴史を学ぶ時間を学校で持てれば良いと思うが、難しい事だろうか。

(浜松市長) それぞれの学校で、地域の歴史を学ぶ時間があつたと記憶しているが、浜松ではどのような取組をしたか。直虎に関する冊子の配布はしている。

(事務局) 大河ドラマの決定後に、小中学生を対象に直虎の紹介冊子を配布した。

(袋井市長) 個人的な意見だが、大河ドラマで地域の歴史が取り上げられることはそう何度もないため、これを契機に、大河ドラマに関連する地域の歴史について調べ学習をするなど、教育委員会サイドで検討してもらえたら良いと思う。

(御前崎市) 本市では、北小学校で新野左馬助について調べ学習をしており、先日、新野左馬助役の苜谷俊介さんのトークショーを実施した際にも、子供たちが加わった。全学校での実施ではないが、授業にも取り入れており、子供たちも大変よく勉強している。

(掛川市) 配布資料の「井伊直虎の巻」12 ページの相関図について、徳川家康の隣に、秀忠と忠吉の実母である西郷局を入れていただきたい。また、直虎を契機として、遠州の自治体が関わりを持ち、周遊できる観光ルートを作っていただきたい。史実に

忠実に作ると難しいかもしれないが、遠州の各自治体に手を挙げてもらい、改めて歴史を切り口に検討してもらいたい。

(牧之原市長) 古くから、大井川を境として西側が遠州、東側が駿河に分かれている。牧之原は、私の心情的にも歴史的にも遠州に属しているが、現在の地域区分や公共交通など、経済的には静岡とのつながりの方が強い。西部方面への交通アクセスが悪く、交流があまり盛んではないが、我々もぜひ仲間に入れていただきたい。

(浜松市長) 交通アクセスについては、「遠州」と名に冠している遠州鉄道さんに期待したい。バンビツアー等でも様々なコースを計画していただけたらと思う。